

令和 6 年度

年間授業計画

教科

数学

科目

数学Ⅱ

教科： 数学

科目： 数学Ⅱ

単位数： 4 単位

対象学年組： 第 2 学年

教科担当者：	A組 田中坂本 B組 小島福島 C組 田中坂本 D組 野口田中 E組 井澤川瀬 F組 川瀬小島 G組 井澤小島
使用教科書：	数研出版 高等学校 数学Ⅱ

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
式と証明・複素数と方程式・図形と方程式・三角関数・指数と対数・微分法と積分法についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	式と証明・複素数と方程式・図形と方程式・三角関数・指数と対数・微分法と積分法を使って課題を効率的に解く方法を考え表現する力を身に付けるようにする。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単 元 1 第1章 式と証明	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	式と証明についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解させる。事象を数学的に表現・処理できるようにする。	式と計算、等式・不等式の証明	式と証明についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解させる。事象を数学的に表現・処理できる。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	式と証明について、目的に応じて適切に変形したり使用したりすることができるようにする。	教科書・問題集・プリント	式と証明について、目的に応じて適切に変形したり使用したりすることができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	数学のよさを認識し、数学を活用しようとしたり、数学的根拠に基づいて判断しようとしたりできるようにする。		数学のよさを認識し、数学を活用しようとしたり、数学的根拠に基づいて判断しようとしたりできる。				
	単 元 2 第2章 複素数と方程式	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	複素数と方程式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解させる。事象を数学的に表現・処理できるようにする。	複素数と2次方程式の解、高次方程式	複素数と方程式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解させる。事象を数学的に表現・処理できる。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	複素数と方程式について、目的に応じて適切に変形したり使用したりすることができるようにする。	教科書・問題集・プリント	複素数と方程式について、目的に応じて適切に変形したり使用したりすることができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	数学のよさを認識し、数学を活用しようとしたり、数学的根拠に基づいて判断しようとしたりできるようにする。		数学のよさを認識し、数学を活用しようとしたり、数学的根拠に基づいて判断しようとしたりできる。				
	定期考査（第1学期中間考査）/返却と解説						
	単 元 3 第3章 図形と方程式	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	図形と方程式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解させる。事象を数学的に表現・処理できるようにする。	点と直線、円、軌跡と領域	図形と方程式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解させる。事象を数学的に表現・処理できる。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	図形と方程式について、目的に応じて適切に変形したり使用したりすることができるようにする。	教科書・問題集・プリント	図形と方程式について、目的に応じて適切に変形したり使用したりすることができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	数学のよさを認識し、数学を活用しようとしたり、数学的根拠に基づいて判断しようとしたりできるようにする。		数学のよさを認識し、数学を活用しようとしたり、数学的根拠に基づいて判断しようとしたりできる。				
	単 元 4	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（第1学期期末考査）/返却と解説						

令和 6 年度

年間授業計画

教科

数学

科目

数学Ⅱ

教科： 数学

科目： 数学Ⅱ

単位数： 4 単位

対象学年組： 第 2 学年

教科担当者：	A組 田中坂本 B組 小島福島 C組 田中坂本 D組 野口田中 E組 井澤川瀬 F組 川瀬小島 G組 井澤小島
使用教科書：	数研出版 高等学校 数学Ⅱ

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
式と証明・複素数と方程式・図形と方程式・三角関数・指数と対数・微分法と積分法についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	式と証明・複素数と方程式・図形と方程式・三角関数・指数と対数・微分法と積分法を使って課題を効率的に解く方法を考え表現する力を身に付けるようにする。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
2 学 期	単 元 5 第4章 三角関数	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	三角関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解させる。事象を数学的に表現・処理できるようにする。	三角関数、加法定理	三角関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解させる。事象を数学的に表現・処理できる。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	三角関数について、目的に応じて式変形等できるようにする。	教科書・問題集・プリント	三角関数について、目的に応じて式変形等できる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	数学のよさを認識し、数学を活用しようとしたり、数学的根拠に基づいて判断しようとしたりできるようにする。		数学のよさを認識し、数学を活用しようとしたり、数学的根拠に基づいて判断しようとしたりできる。				
	単 元 6 第5章 指数関数と対数関数	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	指数関数と対数関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解させる。事象を数学的に表現・処理できるようにする。	指数関数、対数関数	指数関数と対数関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解させる。事象を数学的に表現・処理できる。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	指数関数と対数関数について、目的に応じて式変形等できるようにする。	教科書・問題集・プリント	指数関数と対数関数について、目的に応じて式変形等できる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	数学のよさを認識し、数学を活用しようとしたり、数学的根拠に基づいて判断しようとしたりできるようにする。		数学のよさを認識し、数学を活用しようとしたり、数学的根拠に基づいて判断しようとしたりできる。				
	定期考査（第2学期中間考査）/返却と解説						
	単 元 7	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	単 元 8	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（第2学期期末考査）/返却と解説						

令和 6 年度

年間授業計画

教科

数学

科目

数学Ⅱ

教科： 数学

科目： 数学Ⅱ

単位数： 4 単位

対象学年組： 第 2 学年

教科担当者：	A組 田中坂本 B組 小島福島 C組 田中坂本 D組 野口田中 E組 井澤川瀬 F組 川瀬小島 G組 井澤小島
使用教科書：	数研出版 高等学校 数学Ⅱ

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
式と証明・複素数と方程式・図形と方程式・三角関数・指数と対数・微分法と積分法についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	式と証明・複素数と方程式・図形と方程式・三角関数・指数と対数・微分法と積分法を使って課題を効率的に解く方法を考え表現する力を身に付けるようにする。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
3 学 期	単元 9 第6章 微分法と積分法	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	微分法と積分法についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解させる。事象を数学的に表現・処理できるようにする。	微分係数と導関数、関数の値の変化、積分法	微分法と積分法についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解させる。事象を数学的に表現・処理できる。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	微分法と積分法について、目的に応じて式変形等できるようにする。	教科書・問題集・プリント	微分法と積分法について、目的に応じて式変形等できる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	数学のよさを認識し、数学を活用しようとしたり、数学的根拠に基づいて判断しようとしたりできるようにする。		数学のよさを認識し、数学を活用しようとしたり、数学的根拠に基づいて判断しようとしたりできる。				
	単元 10	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	単元 11	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	単元 12	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（学年末考査）/返却と解説						